

ほかほかタイムズ

今年度最後となった第5回目の「ほかほかタイム」は、日光市立中宮祠小学校の鈴木正彦教頭先生をお招きして、お話を伺いました。



私は、2005年から3年間アルゼンチンで、そして2011年から4年間ベルギーで生活してきました。今日はその時のこととお話したいと思います。

まず、アルゼンチンについてです。アルゼンチンの広さは、日本の7.5倍ありますが、人口は日本の3分の1です。日本からは地球の反対側にあるので、季節は逆になります。大きな滝がたくさんあって、中でもイグアスの滝が有名です。都市の周りはパンパという草原が広がっていて、人口の3倍の数の牛が飼われています。また、サッカーが人気で、メッシはアル

ゼンチンの出身です。チームもたくさんあって、地域ごとに毎週試合をやっています。私は、ブエノスアイレスの日本人学校に勤めていました。日本人学校では、皆さんと同じ日本の教科書を使って勉強します。唯一違うのは、スペイン語と英語を勉強するということです。世界中の日本人学校は、ほとんどお弁当なのですが、ブエノスアイレス日本人学校は、週3回給食があります。また、運動会やプール学習もあります。プールは、深さが3mもあります。公立の現地校の生徒は、白衣を着て登校します。でも、学校に行けない子もいます。街には、貧しい暮らしをしている人々の家が集まっているビシャという地域【上の写真の道路より手前】があって、そこで暮らす子どもたちは、学校に行けずに、路上で車の窓ふきの仕事をしたりして生活費を稼いでいます。ビシャとは違って、高いビルが集まっている裕福な地域もあります。食べ物はとても安くて、餃子を大きくしたようなエンパナーダは、1個約30円です。牛が多く飼われているので、牛肉は日本の5分の1程度の価格でとても安いです。(ちなみに、物価そのものも日本の3分の1程度です。)



次は、ベルギーについてです。ベルギーは、日本から18時間くらいかかるヨーロッパにあります。北海道より北にあるので、冬はとても寒い(ダイヤモンドダストが見えます)です。私が行っていたブラッセル日本人学校の校庭では、近所の迷惑になるため大きな声を出せません。そのため運動会は、サッカー場を借りてやります。ベルギーの国民は、ムール貝とフリッツというフライドポテトをよく食べます。また、ワッフルも人気があります。さらに、チョコレートも有名で、アナナ(フランス語でパイナップル)味など、いろいろなチョコレートがあります。ベルギーには、「フランダースの犬」でネロとパトラッシュが見たアントワープ大聖堂があります。郊外には森がたくさんあって、休日には森を散策する方がたくさんいます。春には、日本の桜にそっくりのアーモンドの花がたくさん咲きます。街にはスーパーもありますが、普通の人は、土・日にマルシェという市場で買い物をします。マルシェにはいろいろなものが売っていて、とても安いです。一般的なスーパーで買



い物をするとき、野菜や果物など袋に入っていないものは、量り売りです。自分で必要なだけ袋にとって、左の写真のような計測機械に載せてから種類を選びます。そして機械から出てきた値段のラベルを張ります。

みなさんは、日本が一番だと思っていると思います。でも、世界に行くとその国の人は、その国が一番だと思っています。その国に行ったら、日本の良いところと比べるのではなく、その国に住まわせてもらっているという感謝の気持ちを忘れないくださいね。

鈴木先生は、たくさんの写真を見せてくださりながらお話いただいたので、子どもたちは、初めて知る外国の様子について、夢中になって話を聞いていました。

子どもたちの感想は、裏面に載せてありますので、御覧ください。